

第14期 報告書

(平成25年7月1日から平成26年6月30日まで)

特定非営利活動法人りすシステム

I. 第 14 期事業報告書

特定非営利活動法人りすシステムが、当期に発足 20 周年記念に係わる行事（式典開催・記念誌発行・大分県の地球に恩返し森で神農さん薬用樹木園オープン植樹祭開催）を実施できたことは多くの皆様のご協力の賜物と考えております。今後ともますます精進していく所存ですのでご支援の程お願いします。

当法人は、生前契約に関する啓蒙普及事業、死後事務契約の受託事業、生前事務契約の受託事業、地球に恩返し運動事業および利用者支援事業を中心として活動しておりますが、定款に記載した事業別（12 に区分できます）について当期の活動状況を説明しますと以下の通りです。

1. 生前契約に関する啓蒙普及事業

イ) 定期説明会の実施

各支部で毎月 1 回実施し、説明会参加者数は 532 人でした。

ロ) 講演実施およびテレビ・新聞・雑誌等での紹介

講演：東京：平成 25 年 7 月、平成 25 年 10 月

北海道北見：平成 25 年 11 月

横浜：平成 25 年 10 月

熱海：平成 25 年 11 月

名古屋：平成 26 年 2 月

テレビ：BS 朝日及びテレビ朝日：平成 26 年 3 月

新聞：毎日新聞 6 回、読売新聞 4 回、宗教新聞 3 回、中国新聞 2 回、
大分合同新聞他 8 新聞各々 1 回

雑誌：総合ユニコム「月刊フューネラルビジネス」2 回、
表現文化社「SOGI」

2. 死後事務契約（祭祀主宰を含む）の受託事業

イ) 死後事務契約受託

各支部で通年実施し、死後事務契約者数は 218 人でした。

ロ) 死後事務の履行

死後事務を履行した件数は 47 件でした。

3. 生前事務契約（療養看護、身上監護、財産管理等生活支援）の受託事業

イ) 生前事務契約受託

各支部で通年実施し、生前事務契約者数は 222 人でした。

ロ) 生前事務の履行

各支部で通年実施し、生前事務を履行した件数は 1,641 件および入院・入居・旅行・就職等に係る保証をした件数は 297 件でした。

4. 任意後見契約の受託並びに成年後見人等の受託事業

イ) 後見事務契約受託

各支部で通年実施し、任意後見契約者数は 222 人でした。

ロ) 後見事務の履行

東日本・北日本・中部日本・西日本・九州支部で通年実施し、後見事務を履行した件数は 169 件でした。

5. 生前契約に係る遺言に関する事業

遺言作成のサポート事務受託を各支部で通年実施し、遺言公正証書作成者数は 288 人および遺言執行をした件数は 1 件でした。

6. 目的達成に必要な人材育成および出版に関する事業

イ) りすシステムスタッフの研修

元最高裁判事による「民法の基礎および実務研修」および杏林大学医学部教授による「人体の成り立ち」をりすセンターで 4 回実施し、延べ 134 人参加しました。

ロ) 書籍販売

各支部で通年実施しました。

7. 葬送環境科学研究所による地球にやさしい葬法の調査研究、開発、啓蒙普及事業

イ) 調査研究および開発

NPO 地球に恩返し森づくり推進機構と協力して「エコ人権葬」運動を推進しています。自分の葬儀に必要な二酸化炭素を植樹によって相殺することを目的にした「地球に恩返し基金運動」を実施しています。

ロ) ニュージーランド撒骨

撒骨を平成 26 年 3 月にニュージーランドで実施し、参加者は 9 人でした。

8. 地球に恩返し運動（森づくり等）に関する事業

大分県の功德院の周辺に土地を購入し、地球に恩返し森づくり（薬用樹木の森を含む）を実施しています。20 周年記念事業として神農さんの薬用樹木園オープン植樹祭を実施しました。

9. 葬送 110 番の設置等葬送に関する相談および支援事業

葬送に関する電話相談事業を各支部で通年実施し、相談件数は 631 件でした。

10. 生活支援テレフォンの設置等生活支援に関する相談事業

日常生活で気になること等、暮らしの相談に関する電話相談事業を各支部で通年実施し、相談件数は 517 件でした。

11. 生前契約利用者に対する支援事業

イ) 会報誌「りす倶楽部」発行

生前契約利用者を対象に本部で毎月 1 回発行し、発行部数は年間 33,800 部です。

ロ) りす倶楽部の懇親会等

生前契約利用者を対象に各支部で実施し、実施回数は 123 回で参加者数は 863 人でした。

ハ) 24 時間コールセンター事業

生前契約利用者を対象にりすセンターで通年実施し、コールセンター利用件数は年間 642 件でした。

ニ) りすセンター・新木場事業

りすセンター・新木場が生前契約利用者およびその他の一般の方を対象として平成 23 年 1 月にオープンしました。人が亡くなったときに遺体を預かりそして亡くなった方に相応しい弔いをどうしたらよいかをその親族が一息ついて相談できる施設として利用されています。1,503 人の方が来場され、利用されました。

ホ) 支部での各種支援事業

生前契約利用者の契約内容に係わる来所相談および電話相談を各支部で通年実施し、来所相談者数は 826 人及び電話相談件数は 5,734 件でした。

ヘ) 医療に関する相談事業

生前契約利用者を対象に保健師 O B のご協力を得て東日本・中部日本・西日本支部で通年実施し、多数の人の相談を受けています。

ト) その他の支援活動事業

- ① 生前契約利用者を対象にセコム株式会社と提携した安否確認サービス（セコムで見守り、緊急時に各支部（夜間は新木場）で対応する仕組）を通年実施し、現在までに 204 世帯の方が利用しています。
- ② 生前契約利用者を対象に株式会社りすネットの協力を得て、住み替えや不動産売却の相談を各支部で通年実施し、多数の人の相談を受けています。

12. りすシステムと同じ目的を持つ特定非営利活動法人の設立、運営、支援に関する事業

地球に恩返し基金運動などの事業を実施するにあたり、NPO 地球に恩返しの森づくり推進機構の活動を支援し、秋には神農さんの薬用樹木園オープン植樹祭を共催しました。

Ⅱ. 第 14 期収支計算書

上記のⅠ. 第 14 期事業報告書で記載した事業活動を実施しました結果、経常収支差額は△9,370 千円となりました。経常的な事業活動からの経常収入は 334,554 千円【会費・入会金収入 63,486 千円(生前契約利用会費等 37,583 千円、維持会費 25,903 千円)、事業収入 40,706 千円、寄付金等収入 227,333 千円(助成金等収入 33,566 千円含む) および雑収入 3,028 千円】であり経常支出は 343,924 千円【事業費 275,563 千円および管理費 68,361 千円】であった結果です。

また、この経常収支差額にその他資金収支差額△31,820 千円を加えた当期収支差額は△41,190 千円となり、前期繰越収支差額△30,352 千円を加えた次期繰越収支差額は△71,543 千円となりました。

なお、当期収支差額に正味財産増減額を加味した当期正味財産は 325 千円増加し、これに前期繰越正味財産 9,808 千円を加えた当期正味財産合計は 10,133 千円となりました。

第 14 期収支計算書（要旨）

自 平成 25 年 7 月 1 日 至 平成 26 年 6 月 30 日

(単位：千円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
Ⅰ 経常収入の部		
1 会費・入会金収入	63,486	
(生前契約利用会費収入等)	(37,583)	
(維持会費収入)	(25,903)	
2 事業収入	40,706	
3 寄付金等収入	227,333	
4 雑収入	3,028	
経常収入合計		334,554
Ⅱ 経常支出の部		
1 事業費	275,563	
2 管理費	68,361	
経常支出合計		343,924
経常収支差額		△9,370
Ⅲ その他資金収入の部		69,212
Ⅳ その他資金支出の部		101,033
当期収支差額		△41,190
前期繰越収支差額		△30,352
次期繰越収支差額		△71,543

この第14期収支計算書（要旨）の経常収入と経常支出をⅠ．第14期事業報告書で記載した定款の事業別に記載しますと以下の通りです。

受託事業（定款事業の2．死後事務受託、3．生前事務受託、4．後見事務受託および5．遺言執行受託）の合計は収入と支出がほぼ見合っております。

受託事業以外の生前契約事業の啓蒙普及活動、地球に恩返し運動活動および利用者支援活動等から発生する支出に管理費を合計した経常支出を会費・入会金収入、寄付金等収入および雑収入でほぼ賄い、経常収支差額は少しマイナスとなっています。寄付金収入が多かったことが経常収支差額のマイナスが少なかった大きい要因です。

第14期定款事業別経常収入、経常支出および経常収支差額の状況

（単位：千円）

定款事業	経常収入		経常支出		経常収支差額
	勘定科目	金額	勘定科目	金額	
1. 生前契約啓蒙普及	事業収入	1,684	事業費	76,030	
2. 死後事務受託	事業収入	11,313	事業費	5,957	
3. 生前事務受託	事業収入	15,073	事業費	14,675	
4. 後見事務受託	事業収入	3,788	事業費	4,952	
5. 遺言執行受託	事業収入	1,806	事業費	2,998	
6. 生涯教育・出版	事業収入	2,068	事業費	7,856	
7. 葬法調査研究		—	事業費	7,172	
8. 地球に恩返し運動	事業収入	288	事業費	45,102	
9. 葬送110番相談		—	事業費	2,292	
10. 生活支援相談		—	事業費	2,939	
11. 利用者支援	事業収入	4,682	事業費	102,692	
12. 他のNPO法人支援		—	事業費	2,892	
	事業収入 計	40,706	事業費 計	275,563	
			管理費	68,361	
	合計	40,706	合計	343,924	
	会費・入会金収入	63,486			
	(利用会費収入等)	(37,583)			
	(維持会費収入)	(25,903)			
	寄付金等収入	227,333			
	雑収入	3,028			
	経常収入合計	334,554	経常支出合計	343,924	△9,370

Ⅲ. 第 14 期貸借対照表

上記のⅠ. 第 14 期事業報告書で記載した事業を実施しました結果、第 14 期末の正味財産は第 13 期末に較べて 325 千円増加しました(この金額には、Ⅱ. 第 14 期収支計算書で記載した当期収支差額△41,190 千円を含んでいます)。なお、資産合計は 500,200 千円、負債合計は 490,066 千円、正味財産合計は 10,133 千円という状況です。

第 14 期貸借対照表 (要旨)

平成 26 年 6 月 30 日現在

(単位：千円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	54,273		
商品 (納骨堂利用権)	17,100		
その他	53,581		
流動資産合計		124,954	
2 固定資産			
土地	61,826		
保全・遺言預り資産	149,088		
その他	164,330		
固定資産合計		375,245	
資産合計			500,200
II 負債の部			
1 流動負債			
活動負担金	115,000		
未払費用	16,031		
その他	46,478		
流動負債合計		177,510	
2 固定負債			
長期借入金	60,427		
保全基金・遺言預り金	150,677		
その他	101,451		
固定負債合計		312,556	
負債合計			490,066
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		9,808	
当期正味財産増加額		325	
正味財産合計			10,133
負債及び正味財産合計			500,200